

和歌山病院 ニュース

第21号

2008年4月発行



発行元

独立行政法人 和歌山病院
国立病院機構

職員一同は、患者さまの権利と立場を尊重し、地域と密着した

【安心と信頼をいただける病院】

をめざします。

〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138
Tel 0738-22-3256 Fax 0738-23-3104

ホームページ <http://www.wakayama-hosp.jp/>



和歌山病院周辺の桜並木（撮影：吉田 正 管理課長）

目次

- ◆ 就任挨拶（院長・副院長・診療部長）..... 2
- ◆ 病診連携医院のご紹介（第7回）..... 3
- ◆ 防煙教室を開催しています..... 3
- ◆ 外来診療担当表..... 4
- ◆ フォトギャラリー..... 4

就任のご挨拶

院長 楠山良雄



私は昭和56年1月に国立療養所和歌山病院に赴任してきました。当時、当院は循環器疾患と呼吸器疾患の専門病院とはいうものの、地域の住民からは、いわゆる「療養所」、即ち「結核の病院」という古いイメージでみなされていました。以来、当地の循環器疾患と呼吸器疾患はすべて当院が受け持つという職員のコンセンサスのもと、今では地域住民や近隣の医療機関から専門病院として認知されるに至っています。

この間、国立病院の統廃合や独立行政法人への移行等、当院をめぐる環境は目まぐるしく変わりました。これからも高齢化社会が進む中、病院にとって激しい変化の時代が続くことが予想されます。しかし、どのような状況になろうとも、私たちは明確な目標を持って前進していかねばなりません。

その一つは、循環器疾患と呼吸器疾患の診療を通して地域医療に貢献することです。その為には上質な医療を提供すること、患者の要望に

応えるため、医療の透明性を高め、緻密な診療、即ち医師・看護師だけでなく、薬剤師や管理栄養士、理学療法士等が一体となって一人の患者様を診ていくチーム医療の充実を図っていくことです。当院は平成18年に県から地域医療支援病院の施設認定を受けました。勉強会や研修会を通して、地域医療のレベルアップにも貢献していきたいと考えています。

目標の第二は、政策医療の遂行です。政策医療とは民間病院や国立以外の公的病院では担当することはできず、国立病院が担っていかなければならない医療のことです。当院では、国立療養所の時代から結核と重症心身障害児（者）の医療を担ってきました。この20年間に結核の患者様は激減しましたが、和歌山県の結核診療の拠点として今後も診療を継続していきます。

また、当院では平成19年6月に呼吸器センターを立ち上げました。県下紀中・紀南地方における呼吸器診療のセンターとして、今後機能の充実を図ってまいりたいと考えております。御坊医療圏では以前から病院の役割分担が明確にされてきました。これからもそのシステムの特長を活かして、地域医療に貢献していきたいと考えています。

副院長 駿田直俊



このたび副院長となりました駿田（するだ）です。

私もこの病院に来てから16回目の春を迎えることになりました。平成4年に一人の呼吸器内科医として赴任し、日常診療を通じて、患者さん一人一人との関わりを大切にしてきました。また、医長・診療部長として各種勉強会・研修会や健康教室などで先生方をはじめ地域の方々と関わる機会も徐々に増え、開放型病院などを通じて、地域の先生方にも多くのご指導をいただき、地域全体での医療の充実にも関わる事ができたと思います。

今回、新しい役職となり、病院内外の皆様とさらに関わりを深くする立場となりました。

「地域医療の崩壊」が叫ばれる昨今であり、和歌山県も非常に厳しい現状ではありますが、地域医療は本来、魅力的・刺激的なものとは私は考えます。当地域の医療福祉関係の方々、患者さま、さらに地域の住民の皆様にもご協力いただき、当地域の医療文化がさらに発展できるように努めていければ幸いです。今後ともよろしくご挨拶申し上げます。

内科系診療部長 乾宏行



このたび診療部長に就任いたしました呼吸器センターの乾です。就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

月日の流れは本当に早いもので和歌山病院へ来て丸3年が経ちました。その間国立病院機構での仕事を経験する中で、昨今の地域医療の課題や病院経営の厳しさを少なからず勉強させてもらいました。

医学会では再生医療を始めその進歩はまさに日進月歩ですが、反面救急医療体制の破綻や地域医療格差が問題となっていることは申すまでもありません。

医師不足をはじめとして地方病院のおかれた環境は非常に厳しいものがあり、当院も決して例外ではありません。しかし職員が一丸となることでこの逆境を乗り越えられるものと思います。

決して平坦な道のりではないでしょうが頑張りますので、どうかよろしくご挨拶いたします。

～中島医院 中島彰一先生・中島利恵先生～

- 診療科目 内科・消化器科・小児科・神経科・放射線科
- 所在地 〒644-0012
御坊市湯川町小松原380-11
- 電話 0738(22)0168



医院について(自己紹介)一心がけていること? “自然体”で患者さんに接する……これに尽きます。

おすすめ健康法は一「無理しないでね」。患者さんにはいつもこう言います。

和歌山病院の印象は—先生方は熱心で、治療そのものはもちろん、患者さんへの対応もよくしていただいています。また、定期的な勉強会も為になる、実になる内容で、毎回楽しみにしています。開放型病院

など、地域医療連携ではこの地域のはしりでもありますし、これからも期待しています。地域医療連携室より—「ポリシーね、とくにないんですよ」とおっしゃった中島彰一先生。その先生の“自然体”が、日常の診療においても患者さんとの信頼関係に繋がっているのだろう、ということが感じられた取材でした。今後も、先生方の期待に応えられる勉強会を実施していきたいと思えます。

防煙教室を開催しています

未成年者の喫煙防止と正しい知識の普及を目的に、主として有田管内の小中学生を対象に、当院の乾 宏行診療部長（呼吸器センター長）による防煙教室を、昨年10月より継続的に開催しています。

「タバコの歴史」など、興味をひく内容を導入に、様々なデータや患部の写真を紹介することで、児童・生徒のみならず、学校の先生方からも、「喫煙を止めたらがんになるリスクはどれくらい減少するのか」といった質問が飛び出すなど、禁煙の重要性について理解を深める機会となっています。



学校名	対象学年	実施日	受講者数
八幡小学校(有田川町)	6年	H19.10.29	13名
吉備中学校(有田川町)	1年	H19.11.30	171名
湯浅中学校(湯浅町)	3年	H19.12.10	137名
五西月小学校(有田川町)	5・6年	H19.12.13	11名
広小学校(広川町)	6年	H20.1.21	52名
港小学校(有田市)	5・6年	H20.1.28	56名
金屋中学校(有田川町)	2年	H20.2.22	76名

外来診療担当表

平成20年4月1日現在

総合外来	1 診	月 前部屋	火 伊 藤	水 -	木 前部屋	金 -
外科	2 診	栗 山	前部屋	担当医	前部屋	有 本
乳腺外来		-	前部屋(午後)	-	-	-
循環器科	3 診	楠 山	石 井	担当医	楠 山	水 越
	5 診	豊 田	猪 野	-	猪 野	豊 田
	6 診	石 井	-	-	-	-
	初診担当	猪 野	豊 田	担当医	川邊(哲)	石 井
神経内科	6 診	-	-	河本(隔週) 三輪(隔週)	-	河 本
呼吸器センター	初診	14 診	柳 本	川邊(和)	田 中	赤 松
	予約診	15 診	-	-	乾	小 野
		16 診	駿 田	小 野	柳 本	乾
	睡眠外来	15 診	-	-	駿田(再診・午後)	駿田(初診・午後)
	禁煙外来	16 診	-	乾(午後)	-	-
	アスベスト・肺ガン検診	15 診	-	乾(第1・3週午後)	-	-
CDPD外来	16 診	-	-	担当医(午後)	-	-
放射線科		-	診断医 (予約制)	-	診断医 (予約制)	-

※放射線治療医につきましては月ごとに変わるため、電話にてお尋ねください。

検査室	超音波室	-		腹部エコー	心エコー	心エコー
	機能検査室	-	心機能検査	-	心機能検査	心機能検査
	内視鏡	消化管	大腸カメラ	-	-	-
気管支		気管支	-	気管支	気管支	

- 一. 受付時間 8時30分から11時30分
- 二. 診療時間 8時30分から17時15分
急患については、この限りではありません。

- 三. 再診については原則、予約制にしております。
- 四. 呼吸器センターについては、15・16診を予約制とし、予約外診療は14診にておこないます。

和歌山病院フォトギャラリー

御坊保健医療圏合同災害医療救護訓練より (H20.3.1)



ボランティアスタッフによる院内展示作品

